

プレスリリース
報道関係者各位

deleteC と関西のスーパーマーケット「万代」が初コラボレーション！

買い物ががん治療研究の応援に 全 169店舗で実施
＜ 54 社・325 商品が協力 対象商品 1 つ購入につき 1 円が寄付に＞

認定 NPO 法人 deleteC(デリート・シー / 代表理事:小国士朗)と関西エリアを中心にスーパーマーケットを展開している株式会社万代(本社:大阪府東大阪市 / 代表取締役社長:阿部 秀行)は、ふだんの暮らしの中で、がん治療研究を応援する取り組みとして、2025 年 4 月 1 日(火)～4 月 30 日(水)の期間中、買い物ががん治療研究の寄付につながる「買い物ががん治療研究の応援に！ in 万代」企画をスーパーマーケット「万代」の全 169 店舗にて実施します。

【コラボレーションの背景】

deleteC では、誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発につながるカジュアルソーシャルアクション(CSA)※を通じて、1 日でも早く「がんを治せる病気になる日」を手繰り寄せることに貢献することを目的に、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がん、膵がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナーズなど 12 名の医師・研究者に総額 5,000 万円以上を支援してきました。



実施期間 | 2025.4/1～4/30

今回新たにコラボレーションする万代との「買い物ががん治療研究の応援に！ in 万代」企画は、ふだんの暮らしの中に deleteC の活動を根付かせていくための重要な取り組みだと考えています。また、万代では、deleteC が掲げる「みんなの力で、がんを治せる病気になる」という理念に共感し、「1 人から 1 億円の寄付もいいけれど、1 円を 1 億人に寄付してもらえたい」という想いと独自で行う「YORIsoi(寄り添い)」と名付けたサステナブル活動の一環である地域社会への貢献、未来を担う子供たちへの支援に繋がるとの考えから、共に取り組むことが決定いたしました。

【寄付について】

寄付対象商品には、54 社・325 商品が協力し、期間中は対象商品を購入すると1円の寄付ががん治療研究に寄付されます。期間中にあつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た医師・研究者にお届けします。寄付先の発表は 2026 年2月に開催する授賞式「deleteC 2026 -HOPE-」を予定しています。

がんを治せる病気になる日を一日も早く手繰り寄せるため、誰もが参加できるカジュアルソーシャルアクション(CSA)を通じてこの取り組みを根付かせ、希望の風景を全国に広げてまいります。

※カジュアルソーシャルアクション(CSA)とは、

「ふだんの暮らしの中で、自分にできることから始める軽やかなアクション」を指し、deleteC が大切にしている考え方です。

【概要】

- 企画名 : 「買い物ががん治療研究の応援に！ in 万代」
- 店舗名 : 万代 全店
- 対象店舗数 : 169 店舗
- 実施期間 : 4 月 1 日(火)～4 月 30 日(水) の 1 カ月間
- 実施内容 : 「買い物ががん治療研究の応援に！ in 万代」を 169 店舗にて実施
対象商品1つにつき1円が寄付につながります
- 対象商品 : 54 社・325 商品
※店頭の「deleteC 寄付対象商品」の掲示をご確認ください。
※商品の取り扱いは店舗によって異なります。
- HP : <https://www.mandai-net.co.jp>

【代表的な一部商品】

<サントリー> C.C.レモン
<日清食品> カップヌードル
<カルビー> ポテトチップス
<花王> アタック ZERO、アタック抗菌 EX
<日本製紙クレシア> スコッティティッシュ
<味の素> 「Cook Do®」 など

【万代メッセージ】

毎日のお買い物シーンを通して、がんを治せる病気に近づけるきっかけをご提供することは、当社のビジョンでもある「日本一買い物に行きたい店舗」にも繋がる取り組みです。

地域に根差したスーパーマーケットとして、お客様・取引先様・万代が一体となって取り組む企画を実施できることをうれしく思っています。ひとつひとつの力が、明るい未来のための大きな後押しとなることを楽しみにしています。

右：店頭ポスターイメージ



株式会社 万代について

株式会社万代の始まりは、1949 年に創業した「万代油脂工業」です。東大阪市足代南に石鹼の製造販売業として「布施店」を構えました。次第に日用雑貨品や化粧品の小売も行うようになり、小売部門の業務発展のため、1962 年「株式会社万代百貨店」を別法人として設立。大阪府内で出店を広げ、奈良県へも拡大していきました。1989 年に「株式会社万代」に社名を変更し、兵庫、京都、三重、和歌山へ出店を拡大し現在に至ります。

【会社概要】

会社名 : 株式会社万代
設立 : 1962 年(昭和 37 年)5月
代表者 : 代表取締役社長 阿部 秀行(Hideyuki Abe)
事業内容 : 食料品・住居関連商品・酒類等を販売するスーパーマーケットの経営
資本金 : 5,720 万円
正社員数 : 3,196 名(2024 年 5 月)
店舗数 : 169 店舗(2025 年 3 月)
大阪府:114 店舗 兵庫県:29 店舗 京都府:10 店舗 奈良県:14 店舗 和歌山県:1 店舗 三重県:1 店舗
HP : <https://www.mandai-net.co.jp>

【deleteC メッセージ】

いつでもどこでもかろやかにがん治療研究の応援ができる。
それが、カジュアルソーシャルアクション(CSA)。

世代や立場をこえて、誰でもできる。投稿するだけで、買うだけで、いろんな方法でできる。
ひとつひとつは小さな営みでも、あつまって、重なって、広がれば、

「がんを治せる病気にする」という未来を手繰り寄せることができるはずだから。
ふだんの暮らしが、応援になる。できることから、かろやかに、はじめよう。

deleteC について

deleteC は、誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発につながるカジュアルソーシャルアクションを通じて、1 日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献することを目的に、2019 年に設立。2022 年には、認定 NPO 法人として、東京都に承認されました。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを企画・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付(※)としてお渡しし、市民もがん治療研究の応援に参加できる仕組みをつくっています。

毎年秋には「deleteC 大作戦」と題し、投稿・拡散、買い物、歩く、学びなど 4 つの CSA を通じて、がん治療研究を応援。2 月には「deleteC -HOPE-」を開催し、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。現在は、参加企業・団体 200 社を超える方々に支持されており、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん

肺がん、乳がん、膵がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナースなど 12 名の医師・研究者に総額 5,000 万円以上を支援しています。(※)寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

<取り組みのきっかけ>

日本では、毎年 100 万人前後が新たにがんに罹患し、生涯 2 人に 1 人はがんにかかり、4 人に 1 人が命を落とすと言われています。早期診断・治療の時代が到来したものの、がんは相変わらず国民の死亡原因第 1 位です。このようながんを治せる病気にするために、日本のみならず世界の研究者達が日々研究を続けています。

deleteC は、医師・研究者の方々と対話を重ねる中で、その一つひとつの研究こそが、現状を変え、数年後、10 年後の未来を変える「希望の種」だと気がきました。がん診療・がん治療研究に携わる医師から deleteC に「研究がなければ治療は始まらない」、「砂粒のような研究の積み重ねが大きな山を作る」、「今進めている研究が 3 年後、5 年後、未来のがんを治せる病気にする希望につながる」、「生きたいと願う患者さんの想いにこたえたい」など、多くの声が寄せられています。

治療研究の着実な積み重ねにより、不治の病と言われていたがんの治療成績は年々向上しています。手術や放射線治療技術の進歩に加えて、1990 年以降に分子標的薬が、2010 年代なかばには免疫チェックポイント阻害剤が登場し、近年

では患者の遺伝子・細胞等を分析し、個々人に最適な治療法が選択できる「精密医療(Precision Medicine)」が現実のもとになりつつあります。しかし、いまだ治療選択が極めて限られるがんも存在し、治せないがんも残っています。また、欧米で使える薬、治療法が国内では使えない場合があるといった課題や、日本のがん研究の予算が欧米に比べて少ないといった課題があります。

deleteC は、このような医師・研究者の想いや現状を受け止め、誰もがふだんの暮らしの中で、がん治療研究という「希望の種」を応援できる仕組みを作り、「がんを治せる病気にする日」を一日でも早く手繰り寄せるため、活動を進めています。 ※「最新がん統計」国立研究開発法人国立がん研究センター https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

【法人概要】

団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC (2022 年 9 月 22 日交付・認定番号4生都管第 703 号)

設立 : 2019 年 9 月 5 日

代表 : 代表理事 小国士朗

事業内容 : (1)ロゴ等を活用したがん啓発事業

(2)がん啓発イベント事業

(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業

(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業

(5)その他その目的を達成するために必要な事業

支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>

HP : <https://www.delete-c.com/>

報道関係者からの質問・取材のご依頼は下記へお願いいたします

株式会社万代 広報 IR 室 TEL:06-6789-0511 ※本資料は大阪商工記者会にも配布しております。